

役員会報告書

日 時：2007年2月14日（水） 午後6時30分～

場 所：後樂園飯店

出席者：レフェリー 浦谷 島川 館 福地 浅尾 杉山 熊崎
吉田 土屋 山田 葛城 中村 飯田 マーチン
タムキパー 小川 高橋 松原 木村
アウター 富樫 須藤
JBC 安河内 内田 羽生 鮫島 染谷
計25名

「協議内容」

1. ビデオ検証

A. レフェリーストップのタイミングについて

1月20日後樂園ホール 小川利樹（角海老宝石）vs 鈴木誠（野口）
5R 1'12" 小川のTKO勝ち 土屋レフェリーによるストップ

鈴木選手は相手のジャブに対する反応がやや鈍く、ストップ直前のアッパーで目の焦点が定まっておらずガードが下がりかけていたので躊躇無くストップしたとする土屋レフェリーの意見に担当したジャッジも同意見だった。

B. ダウン後の加撃に対する2点減点について

2月12日後樂園ホール 豊川陽樹（戸高秀樹）vs 系数仁（フラッシュ赤羽）
第2ラウンド 系数選手が、ダウンした豊川選手に加撃したことに山田レフェリーがダウン宣告の前に2点減点を宣告。

2点減点に関しては問題無し。

ダウン宣告、カウントしてから減点した方がより説得力がある。

ダウン後の加撃に対しては反則負けを含む厳重な対処が必要。

ストップのタイミングや反則に対する減点においては、個々のレフェリーにより運用の不一致があってはならない。今後も整合性に留意しながら安全管理の徹底と反則に対する厳格なる対処が必要であることを再確認した。

2. 報告事項

A. プロテスト受験年齢の引き上げについて

2月28日JBC理事会にて協議予定。

- B. 研修生の実習について
採点・試合進行など全般的に実施中
- C. ローレンス・コール処分の件について
インターバル中のレフェリーによる忠告や技術指導まがいの言は慎むべき。
- D. 試合役員の定年制について
ルールとして明文化予定。引退後は審判委員会での活動や後進の指導へ。
- E. 他地区試合役員との交流について
全国的な交流を活性化させ審判技術向上とレフェリングの統一を目指す。
- F. 海外の世界戦事情
試合進行はボランティアの協力やパートタイム利用で運用している。

各種提案

- A. 初心者ファン向けのサポート。
例) ホール廊下の広告掲示スペースを利用したのルール説明や各種アナウンス。
- B. 試合役員会への協会のオブザーバーとしての参加。
- C. JBCと協会の頻繁な連絡会議。
- D. ボクサーC級 B級 A級の昇級基準の見直し。
- E. 外国人ボクサーによる無気力試合の追放。

以上